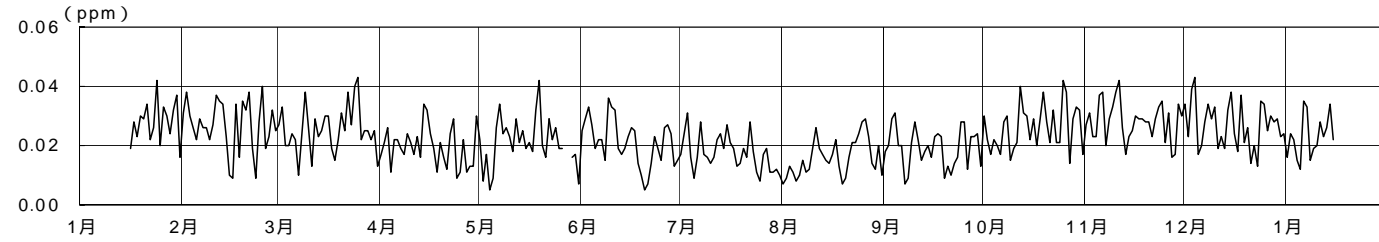


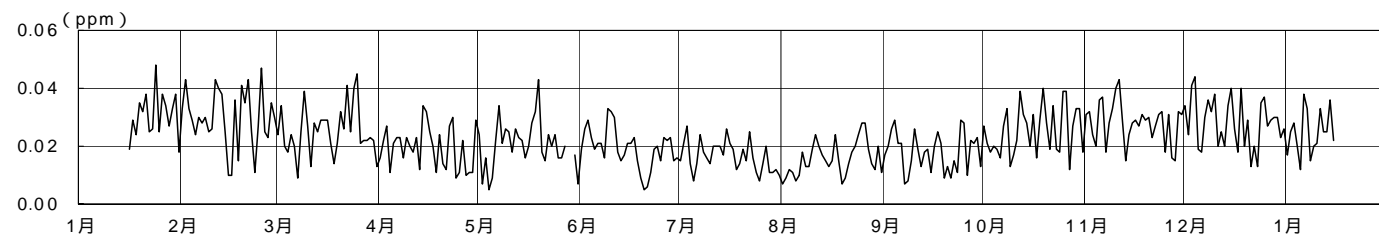
二酸化窒素 (NO₂) の各地点の観測値は、比較的冬季が高く、夏季が低い傾向を示しました。また、浮遊粒子状物質 (SPM) の各地点の観測値は、比較的季節による変動が少ない傾向を示しました。

[二酸化窒素 (NO₂) の日平均値の推移]

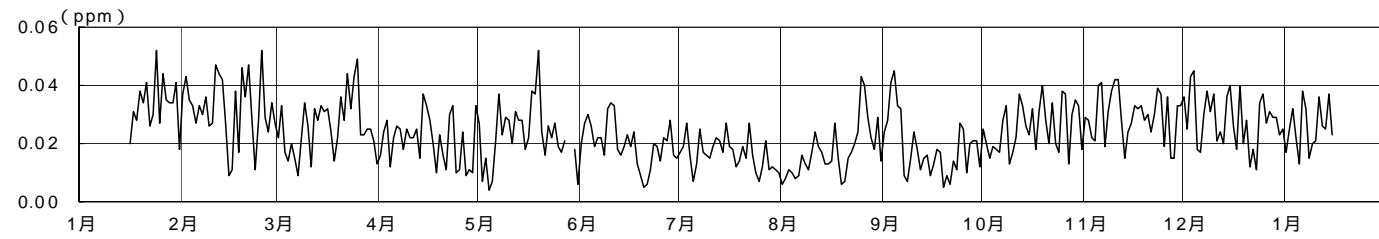
次大夫堀公園 (世田谷区)



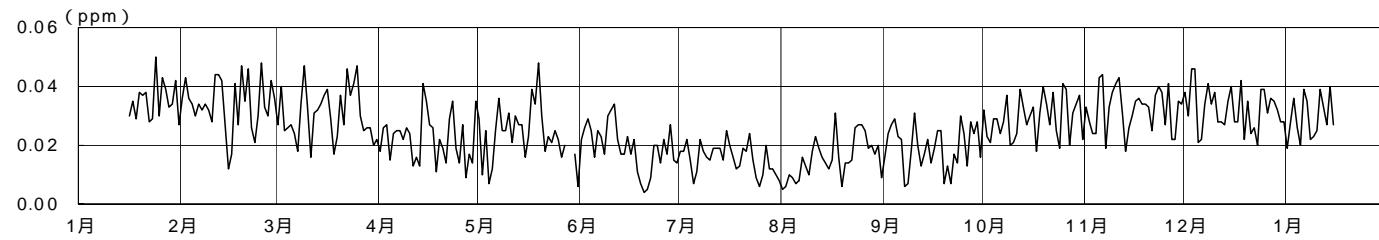
市立北野小学校 (三鷹市)



区立荻窪中学校 (杉並区)

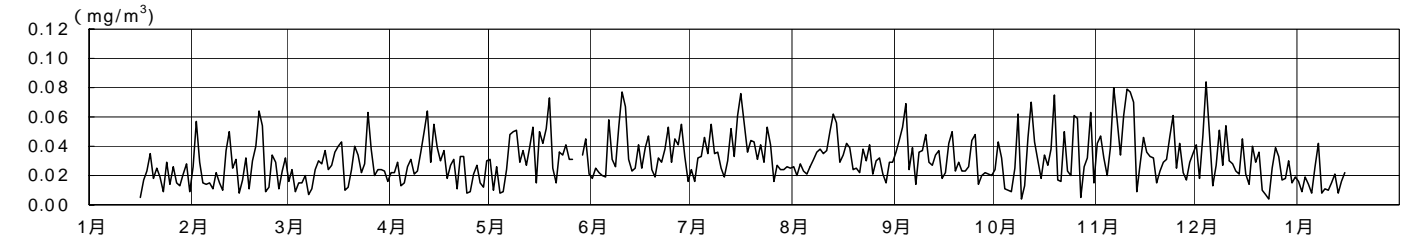


区立泉新小学校 (練馬区)

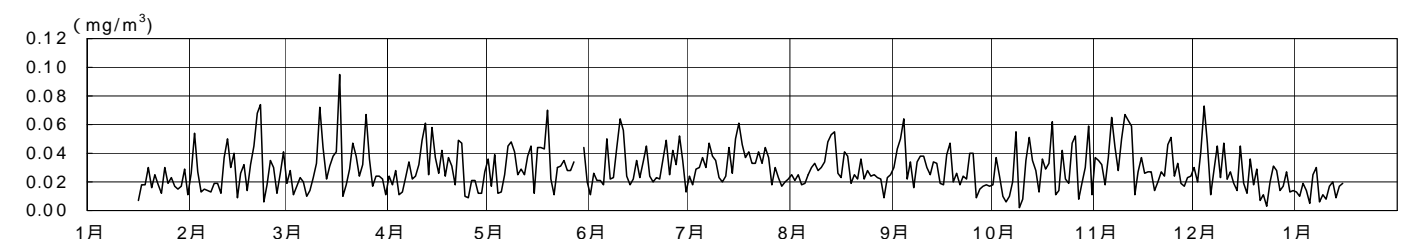


[浮遊粒子状物質 (SPM) の日平均値の推移]

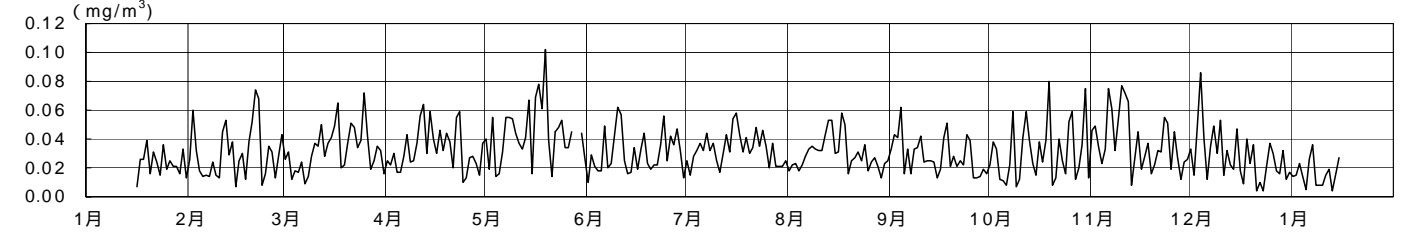
次大夫堀公園 (世田谷区)



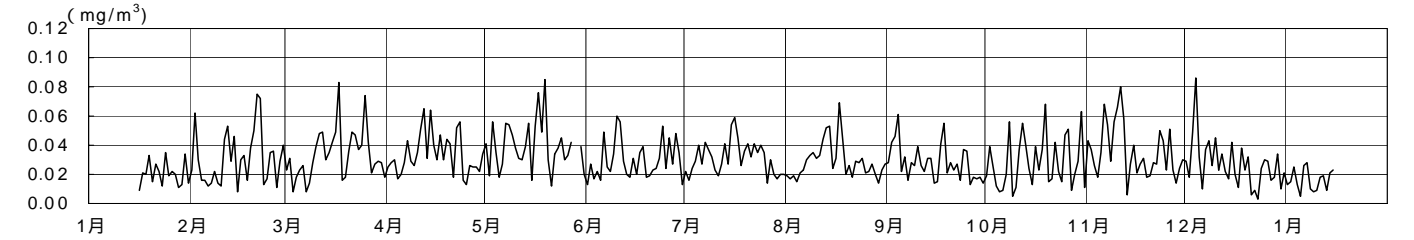
市立北野小学校 (三鷹市)



区立荻窪中学校 (杉並区)



区立泉新小学校 (練馬区)



[観測結果 (年平均値)]

調査地点	二酸化窒素 (ppm)			浮遊粒子状物質 (mg/m ³)						
	結果		環境基準の達成状況	結果			環境基準の達成状況			
	年平均値	日平均値の年間98%値		年平均値	日平均値の年間2%除外値	1時間値の最高値	日平均値の年間2%除去値が0.1mg/m ³ 以下	1時間値が0.20mg/m ³ 以下	日平均値が0.1mg/m ³ を越えた日が2日以上連続しない	
次大夫堀公園 (世田谷区)	0.023	0.040	○	0.031	0.073	0.329				×
北野小学校 (三鷹市)	0.023	0.043	○	0.029	0.067	0.529				×
荻窪中学校 (杉並区)	0.024	0.045	○	0.031	0.074	0.250				×
泉新小学校 (練馬区)	0.025	0.046	○	0.030	0.072	0.228				×

- 環境基準 : 二酸化窒素・・・1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下であること。
: 浮遊粒子状物質・・・1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。
- 評価について
二酸化窒素 : 1年間の1日平均値のうち、低い方から数えて98%目(例えば年間有効測定日が350日の場合には343 (= 350 × 0.98) 番目)に当たる値(1日平均値の年間98%値)を環境基準と比較して評価を行う。
浮遊粒子状物質
ア) 短期的評価 : 測定を行った日についての各1時間値を環境基準と比較して評価を行う。
イ) 長期的評価 : 1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、高い方から数えて2%の範囲にある測定値(例えば年間有効測定日が335日の場合は7 (= 335 × 0.02、四捨五入) 個の測定値)を除外した後の最高値(1日平均値の年間2%除去値)を環境基準と比較して評価を行う。ただし、上記の評価方法にかかわらず環境基準を超える日が2日以上連続した場合には非達成と評価する。
資料 : 大気汚染に係る環境基準について(昭和48年5月8日 環境庁告示第25号)
: 二酸化窒素に係る環境基準について(昭和53年7月1日 環境庁告示第38号)
: 二酸化窒素に係る環境基準の改定について(昭和53年7月17日 環大企第262号)
: 平成15年度版 日本の大気汚染状況 大気汚染法令研究会/監修
- 5月末の欠測は観測機器の撤去・再設置によるものです。